

田中 仁
法学研究科・教授

【研究】

- (1)2018年8月、ワンアジア財団助成金による国際共同研究の成果である編著『21世紀の東アジアと歴史問題: 思索と対話のための政治史論』(法律文化社、中国・台湾・韓国・シンガポールをふくむ12人が執筆)の韓国語版を韓国・ハンウルエムプラス社から出版した(柳鏞泰氏と共編)。また英語版の出版についてRoutledgeと合意した。
- (2)2018年8月、10th International Conference on East Asian Studiesにおいて、研究報告 East Asia in the Twenty-first Century: Controversy over Historiography を行った(ウランバートル、モンゴル国立大学)。
- (3)国共両党的比較研究(台湾・中央研究院主題研究プロジェクト)に参加し、「現代中国政治における毛沢東経路の発生」にかかわる研究を進めた。

【教育】

- (1)法学研究科と国際公共政策研究科の指導教員として学生の指導に当たった(法学研究科博士後期課程2名、国際公共政策研究科博士後期過程1名、博士前期課程1名)。このうち1名が博士(法学)の学位を、1名が修士(国際公共政策)の学位を取得した。
- (2)法学研究科で「アジア政治史」「アジア政治史特殊講義」を、国際公共政策研究科で「特殊講義(アジア政治史)」「特殊研究(アジア政治史)」担当した(受講生はそれぞれ1、0、6、0名)。
- (3)法学部で「アジア政治史」「セミナーⅡⅢⅣab」を担当した(受講者はそれぞれ50名、3名)。
- (4)共通教育「アジアの文化と社会を知る」を担当した(受講生47名)。

【管理運営】

- (1)国際公共政策研究科講座担当を委嘱された。
- (2)全学教育推進機構兼任教員を委嘱された。
- (3)理学研究科兼任教員を委嘱された。
- (4)先導的学際研究機構(グローバルヒストリー研究部門)兼任教員を委嘱された。先導的学際研究機構(グローバルヒストリー研究部門)兼任教員を委嘱された。

【社会貢献】

- (1)平成30年度に学術団体の役員をしているのは日本現代中国学会理事(理事長、10月まで)、中国現代史研究会理事、大阪大学法学会評議員、広島史学研究会県外評議員などである。
- (2)財団法人東洋文庫研究員(客員)としてその研究活動に参画した。
- (3)滋賀県立大学博士論文審査委員を委嘱された。

【特記事項】

- (1)国際共同研究促進プログラム(短期人件費支援)に採択され、江沛・中国南開大学歴史学院教授と宋志勇・同大学日本研究院教授を特任教授として招聘した。
- (2)研究大学強化促進事業・研究成果の国際的発信支援プログラムに採択され、田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題: 思索と対話のための政治史論』の英語版出版に取り組んだ。
- (3)学内における文理の対話をめざして「まちかねCAFÉ」を企画、開催した(幹事、平成30年度に9回の研究会を開催)。
- (4)平成30年9月と平成31年3月、南開大学講座教授として勤務した。